

## 福祉部会

1909年から100年の今  
「賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト」がありますが知っていますか！  
福祉部会長（福11）横井 幸雄

1950年代に、ノーベル平和賞の候補に推薦されガンジー、シュバイツァーと共に世界の三大聖人と並び称された賀川豊彦を知っていますか？

1909年、神戸の社会的弱者の暮らす地域に入り、共に暮らしてこれ等の人たちのために働きました。仲間と共に、福祉の向上、労働運動、協同組合運動（生協の創立者）平和運動等、多様な運動を展開されました。神戸の福祉、暮らしの根幹を作られた方として忘れてはならない方と思います。

「賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト」（プロジェクト委員長；今井鎮雄KSC学長）は、賀川豊彦と仲間たちの活動を100年に遡って検証し、評価して、今の課題の解決に生かそうとする活動です。賀川豊彦のメッセージは次のようです。

1. 逆境や深刻な苦悩を克服して、清廉な生涯を全うした。
2. 人間愛に基づく共生、互助を訴え続けた。
3. 常に世界の平和を希求し続けた。
4. 良心やモラルを何よりも重視した。
5. 他人の苦しみを共有する事に努力して、社会的弱者の救済に心血を注いだ。

今井鎮雄学長は自著「時を刻む、今井鎮雄の仕事」の中で賀川豊彦の先見性について書かれています。

共産主義の経済学も、資本主義の経済学も自己の利益の拡大を追及するもので、人は物をたくさん持てれば幸せになるというのは錯覚であると述べた賀川豊彦の先見性は学ぶ必要があると書かれています。100年前に現代の社会の矛盾と問題点を指摘した賀川豊彦さんに学ぶ神戸プロジェクトに期待したいと思います。

グループ わ の方と共に、私はこのプロジェクトのボランティアに参加していますが、少しでもお役に立つことを願っています。また、賀川豊彦生誕100年を記念して設立した真愛ホームに、中央区会と福祉部会でボランティア活動をしています。参加して頂ける方を待っています。

## 東灘区会

キャッキヤ・ワイワイ 収穫だ！  
東灘区（園7）富永 征児

神戸市立  
遊喜幼稚園  
（今年創立9  
2周年）での  
食育ボラン  
ティア活動  
を始めて5年  
半になる。  
メンバーは



現在10名で後期高齢者前後の仲間だが、精神的には勿論のこと、肉体的にも元気そのもの。野菜づくりの経験者もあり、都合のよい作業日に4名前後の方が月2回頑張って参加している。作業は園児と一緒に畝づくり、種まき、苗の植え付け、草抜き、水やりをする。皆で一緒に収穫の楽しみを持てるように、たまねぎ、だいこん、じゃがいも、さつまいもを主に作っている。

今年は6月11日にたまねぎを100個収穫、ソフトボール大のものも多く園児が引き抜くとき、力を入れすぎ抜けた時の反動で仰向けに尻もちつく園児もあり、笑いにつつまれ楽しい1日となった。

6月19日はじゃがいもの収穫、たまねぎの時と同様に園児が順番に茎を引っっこ抜き、じゃがいもが現れると歓声が上がった。そして手で掘ると次々にじゃがいもが顔を出し夢中で土掘りを楽しんでいる。大小合わせて40キロの収穫だ。収穫物は全て幼稚園に渡し、園児にはそれぞれ家族へのお土産として持って帰る。その夜食卓を囲みながら収穫の様子が話題になれば嬉しいことである。

現在はさつまいもが順調に育っている。秋の収穫そして園児と一緒に「蒸しいも食事会」を楽しみにしている。



[前のページへ](#)

[次のページへ](#)